

「令和6年度 学校教育推進のためのアンケート」のお礼と結果について

保護者の皆様方には、本校の教育活動のためにご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年度から通信端末を用いたGoogleフォームによる回答の形式とさせていただいております。今回につきましても多くの方々のご協力をいただき、ありがとうございました。また、このアンケートは、本年度の本校の教育活動を振り返るとともに、次年度に向けて、より実のある教育活動を展開するための貴重な資料です。

つきましては、アンケート結果を下記のようにまとめましたのでお知らせします。なお、今回の結果につきましても、教職員一同、来年度の学校経営・学級経営に活かし、教育活動のいっそうの充実を図ってまいりたいと存じます。今後ともよろしく願いいたします。また、集計結果をグラフにまとめたものを学校ウェブページに掲載しました。ご参照いただくと幸いです。

《アンケート結果のまとめ》

【項目1～6 学校への関心について】

- 保護者、地域、学校の三者が連携していると認識していただいている保護者の方々が多く、学校とのつながり度合いを高く認識していただいていることが分かりました。今後も学校と保護者、地域の方々との連携を大切にしていきたいと思います。昨年度より保護者の方々のご自分の都合に合わせながら自由に参加できる「ちょいボラ隊」を発足し、あいさつ運動やミシンの見守り活動、環境美化活動に参加いただきながら、子どもたちの学校での様子を知っていただくことができました。今後も保護者、地域の方々によるボランティア活動を適切に取り入れながら、さまざまな方々とのつながりのある教育活動を進めてまいります。
- 子どもたちの学校での様子や学校行事の予定など、ホームページやメール配信等の連絡手段が非常に役立っていることが分かりました。今後も、学校生活の様子がよくわかるような情報の発信に努めます。

【項目7～12 本校の姿勢・対応について】

- 96%の児童が学校が楽しいと答えており、学校が多くの子供にとって過ごしやすい場所になっていることが分かりました。昨年度より学校が楽しいと答えた児童が増えており、とても良い傾向であると考えています。学校行事についても、子どもたちがより意欲的に取り組むことができる方法を工夫することで、達成感を味わうことができる行事づくりを目指してまいります。
- お子さんの悩みや相談について、昨年度に比べて学校で相談できると答えた児童が増加しているものの、相談できない児童もまだいる事実を全職員で認識し、日々の声掛けはもちろん、アンケートの実施や教育相談の場を有効に生かしながら、児童はもちろんのこと保護者・地域の皆様の声にもいっそう耳を傾け、カウンセリングマインドを持ちながら対応ができるよう努めていきます。

【項目13～21 学習・体力面について】

- 基本的な学習マナーや基礎・基本的な学力の定着について身につけていると感じているご家庭が多いものの、まだ改善の余地があると考えてみえるご家庭もあり、学習の基礎・基本の定着がより図れるよう、学習指導の方法を全職員で研究し、実践していくことに努めます。
- 家庭学習の習慣化についてはできていないと認識していただいているご家庭が多いものの、習慣化ができていないと感じてみえるご家庭もあり、保護者の方々との日々のより深い連携が必要だと考えています。
- 今年度も読書離れの傾向が見られており、言語活動の一環としても読書好きの児童を増やしていかなければならないことが課題です。今後も引き続き、「読書ゆうびん」「読み聞かせ」等、さらには日々の学習の中で読書の楽しさを伝えたり、図書館の活用を進めたりすることで、読書好きの児童を増やしていきたいと考えます。
- 最後までがんばる気力や体力について低いととらえていると考えるご家庭が15%ほどあることが分かり、子どもたちに目標を持たせながら物事に取り組みせたり、日々の学習や遊びの中でがんばって取り組んだ後の達成感を味わわせたりすることを意識しながら教育活動を進めていきたいと考えています。

【項目22～30 生活・安全面について】

- 社会生活におけるルールやマナー、あいさつの習慣については、各家庭や地域の方々に、日々ご理解・ご協力をいただいているおかげで、9割以上に及ぶ方ができていると感じてみえることが分かりました。しかし、登下校の際の保護者や地域のボランティアの方々へのあいさつができていないという声も聞いており、あいさつ運動などの活動を積極的に行うことで元気よくあいさつできる子どもを育てていきたいと考えます。今後も子どもたちの基本的な生活習慣としての日常生活におけるマナーやルールの遵守などを、家庭・地域からの声を大切にしながら育成を図っていききたいと考えます。
- 大規模地震等に備える家庭での話し合いが昨年度よりも増加していることが分かりました。特に最近では地震への不安が大きくなっていることもあり、より現実的な対応を考えた避難訓練の実施や日常の安全指導に努めていきます。今後も学校・家庭・地域が一体となって、児童の安全確保に努め安全教育を推進します。